



2023-2024 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー(スコットランド)

例会日 : 毎月第2・第4水曜日
場 所 : 各務原市産業文化センター2階
住 所 : 各務原市那加桜町2-186
TEL <058>382-4649 FAX <058>382-4719

会 長 : 松井 雅史 幹 事 : 小島 博彦
副会長 : 横山 浩之 会 報 : 永田 和弘

本日のプログラム 2024年3月27日(水)

1) 外部卓話

場所:各務原市産業文化センター2階 第2会議室

次回例会の予告 2024年4月10日(水)

2) 春の防犯パトロール活動

場所:各務原市民会館 第2駐車場

出席委員会

会員総数 29名(出席免除3名) (2023.7.1 現在)

～ 渡邊ガバナー補佐クラブ訪問及び外部卓話例会 ～

司会進行

小島 博彦 幹事

会長挨拶

松井 雅史 会長

皆さん、こんばんわ。本日もお集まりいただき有難う御座います。まず初めにお客様のご紹介をさせていただきます。

- ・東海北陸道グループ ガバナー補佐 渡邊 剛 様
- ・郡上八幡ロータリークラブ会長 三原 慎也 様
- ・各務原市役所 教育委員会 教育施設整備推進室 室長 牧田 洋之 様
- ・各務原市役所 教育委員会 教育施設整備推進室

特別支援教育担当官 和田 俊人 様

和田様には本日卓話で支援学校についてお話しいたできます。現在当クラブでは次年度の地区補助金事業に向け、新しく新設する支援学校への寄附と活動について計画しているところです。そこで私達も支援学校について知識を深めなければいけないという事で、急遽お忙しい中お時間を作って頂きました。

今期も残り4ヶ月となりました。上期より会員増強に向け「楽しい会」を開催して来ました。振り返ってみ

ますと、例会自体 重んじたかという点など反省点もありますが、残り4ヶ月調整し次年度金武さんに引き継げたらと考えております。

次回例会では、介護支援のケアマネージャーをしております多和田 充宏さんの卓話を予定しております。近年の介護保険や介護の事情についてお話しいたきます。同時に多和田さんには、入会申込書も頂いておりますので、また一人新しい仲間が増えます。どうぞ宜しくお願いします。

3分間スピーチ



横山 隆一郎 君

皆さんこんばんは。私も80歳を過ぎ第4コーナーを回っている所です。皆さんもご承知の様に全国的に農業の担い手が不足しております。

これは各務原市にも



世界に希望を生み出そう

第2802例会

令和6年3月13日(水)

No.0740



言える事で、私達の組織も平均年齢が71歳でお手上げ状態です。私が住んでいます 境川から北側の宮代町、大島では優良な水田が広がっています。持続可能な農業を可能にしなければいけない、という事で長い間、市に働きかけてきましたがようやく本腰を入れてくれました。無駄を排除し農地整備をすべく農業法人を立ち上げ、担い手で産業として農業を営んでいく取り組みです。「大宮地区農業基盤 整備検討委員会」という組織が立ち上がり市役所、農協、農家の3社がようやくスタートラインにつき、私が会長役を仰せつかりました。完成までに10年かかると言われています。完成まで見届ける事が出来るかどうかは分かりませんが、私としては軌道に乗るまでは何とか見届けたいと思います。このような活動を、人生最後の奉仕として取り組んでいます。機会がありましたらまた皆様方何らかの形でお世話になったり、ご協力をいただいたりお願いをすることがあるかもしれませんが、その節は宜しくお願い致しまして私の3分間スピーチにかえさせていただきます。有難う御座いました。

私の仕事(第6回)



平井 正晴 君

皆さんこんばんは。フラワーショップ花豊で花屋を営んでおります。1950年(昭和25年)に父親が創業し、74年になります。当時は何も無い所でしたので百貨店のよう、金物や雑貨等何でも販売しておりました。私もかつては小鳥を売ったことがあります。金魚もエアガンも売りました。そういった時代でしたが、お花だけは欠かさず売っておりました。私がお店を継いだのは昭和51年で、今年で48年目になります。私の仕事は、皆さんのお仕事の中でも最後のまとめの所として仕事が始まります。会場設営された後、最後のお花盛りであったり、結婚式場で

設営された後の会場の飾り付け、また葬儀の場合も祭壇設営の後、最後にお花を並べたりと、皆さんの会場設営等のお仕事が終わらないと私の仕事は始まりません。

平成7年にはターゲットやイトーヨーカドーにも出店させて頂きました。当時は本当に忙しく、月4回ロータリーの例会に出席するのも大変でしたが内助の功のおかげで何とか今に至っており、頭の下がる思いです。

丁度今時分は、母の日のキャンペーンを進めています。昔からお彼岸、お盆等季節の節目毎にお花を使いましたが、コロナを境に需要が減った様に感じます。1980年お花のピーク時、消費拡大として県のフラワーショーに参加させていただいたこともありました。岐阜県が始まりで、後に全国で持ち回りのフラワーショーが開催される様になりました。

岐阜県には青果市場が1つしかなく、当時私が理事を務めていたころは270件近くの花屋がありましたが、現在は130件まで半減してしまい、今後10年以内には更に減少すると言われております。何とか立て直していかなければならないと思っておりますので、私ももう少し頑張っってやっっていこうかと思っております。皆さんには良い花をお届けしており「良い花だったよ」と言われることが一番嬉しいです。これからも宜しくお願いします。

野村 公人 R財団委員

ニコボックス報告

野村 公人 R財団委員

・渡邊 剛 ガバナー補佐、三原 慎也 様

本日はお世話になります。宜しくお願いします。

・松井 雅史 会長 渡邊ガバナー補佐、三原会長、お帰りなさいませ。3月18日の会長幹事会を楽しみにしています。

各務原市役所 牧田様、和田様、本日は急な依頼で済みませんでした。どうぞ宜しくお願いします。

・小島 博彦 幹事 渡邊ガバナー補佐、三原様、各務原市役所 牧田室長、和田担当官、本日は有難う御座います。

・金武 峰之 会長 皆様こんばんは。

渡邊がバナー補佐、三原様そして各務原市役所 牧田様、和田様、本日は宜しくお願ひ致します。

・横山 隆一郎 君 皆様、お久しぶりです。

・平井 正晴 君 教育委員会 教育施設整備推進室の皆様、本日は宜しく。東海北陸道グループ がバナー補佐 渡辺様、お疲れ様、本日も宜しく。

・可児 昌則 君 お久しぶりです。

・山田 昭仁 君 渡邊がバナー補佐、本日は宜しくお願ひします。

・竹田 克茂 君 宜しくお願ひします。

・永田 和弘 君 本日は宜しくお願ひします。

・野村 公人 君 今年の花粉、私は目に来てます。皆さんは大丈夫ですか？

本日の卓話

卓話者：各務原市役所教育委員会 教育施設整備推進室

内 容：かかみがはら支援学校 について



現在各務原市では、とくべつ支援学校を新しく設立しています。元々市内に支援学校はありますが、知的障がい児のみ対象とし尚且つ高等部のみで、50名の生徒が通う学校が雲雀町にあります。しかし小学部、中学部、知的障がい以外の子供たちが通う学校が市内には無い為、1時間以上かけて羽島特別支援学校や関中濃特別支援学校に親の送迎で子供たちが通っています。この様な現状が30年以上前から続いており、何とか市内に学校を設立して欲しいという要望から、各務原市では令和元年度に新設する方針が決まりました。そして私が所属する教育施設整備推進室が令和2

年度に立ち上がりました。

本日は皆様もご周知の事かと思いますが改めて、特別支援学校や特別支援教育についてお話しさせていただきます。



私は（和田担当官）一時期 県の教育委員会に勤めておりましたが、34年間特別支援学校の教諭をしておりました。そして3年前に

特別支援学校を最後に退職し現在に至ります。

本日はよく耳にする特別支援学校について、そして新しく出来る学校はどのような学校なのか、最後にロータリークラブの皆さんにお力添え頂きたい事3点をお話しさせていただきます。

平成18年までは「養護学校」と言われていました。その他「盲学校」「聾学校」があり「養盲聾学校」という呼び方をしておりました。しかし平成19年の法律改正に伴い「特別支援学校」に変わりました。しかし岐阜県は「岐阜盲学校」「岐阜聾学校」「特別支援学校」という学校名で残っています。特別支援学校とは、障がいの程度が比較的重い児童が通う学校です。市内の小中学校には「特別支援学級」が全ての学校にあります。昔は「特殊学級」と言われていました。市内の小中学校全てに特別支援学級がある事は、県内でも非常に珍しいことです。違いとしては、特別支援学級に通う子は障がいの程度が比較的軽度な子が通う所です。

特別支援学校の対象となる障がいは

1. 視覚障害
2. 聴覚障害
3. 知的障害
4. 肢体不自由
5. 病弱

上記5つになります。近年よく耳にする発達障がいの子は対象ではありません。

また障がいの重い子の中には、重複障がいといって知的障がいと肢体不自由、視覚障がいと病弱などを併せ有している子などもみえます。私が以前通っていました長良特別支援学校は、病弱の子が通う学校ですが知肢病など3つの障がいを併せ有している子が何名かみえました。寝たきりで言葉のコミュニケーションも取れない子や、瞬きが出来ない子もみえました。現在 県内に特別支援学校は23校あります。基本特別支援学校は、高校と同じで県が整備する学校になります。平成18年、古田知事の時代から「子どもかがやきプラン」に基づき、特別支援学校を整備する計画が立てられました。当時は特別支援学校に通う子が非常に増えており、毎年増加傾向にあり教室が足りない状況でした。この様な状況を見兼ねて県内各地から、支援学校を増やして欲しいという署名が多数集まりました。羽島特別支援学校、下呂特別支援学校、其々新しく新設されましたが各務原市は残念ながら「子どもかがやきプラン」から外れてしまいました。

基本的な特別支援学校の特徴として、一つの学校の中に小中高等学校があります。また学校の中なので小学部、中学部、高等部という言い方をします。

長良医療センターで長い間療養生活をしていてベッドから降りる事が出来ない、また家庭にみえて家から出る事が出来ない等 学校に通う事が出来ないくらい重い障がいを持っている方は、訪問教育と言って週2回、其々2時間ずつ教員が訪問し教育をしています。新しくできる学校も小中高、そしてこの訪問教育も出来る体制を整えています。

次に県内小・中・高等学校数、児童生徒数で特別支援学校との違いについてお話しさせていただきます。令和4年度、岐阜県の統計で県内小学校数359校に対し、児童数10万人程、中学校183校、児童数53,000人程、小中学校一貫の義務教育学校4校、児童数1,285人、高等学校87校、児童数52,000人程。多数の署名により

増設致しました特別支援学校は、県内23校 児童数2,600人となります。中には、小中学校の児童数は減少しているのに特別支援学校の児童数が増加しているのは何故かと言われますが、元々の校数と児童数の数に違いがあるのと、それだけ世の中のニーズが上がってきている事が要因と考えられます。

次に1学級あたりの児童生徒数について、令和5年度の統計より小学校1クラス35人、中学校40人、特別支援学級 定員8人、高等学校40人になります。これに対し特別支援学校では、小・中学部定員6人、高等部定員8人、重複学級定員3人になります。1学級につき教員が2名（担任、副担任）付きます。1年生児童の場合、外へ出る際は皆両手を繋ぎ担任、副担任、補助の先生2名が付きます。重複学級になりますと教員は3名付きます。食事を摂る、排泄、健康維持など生きて行く為に必要な教育（教育の原点）を学んでいます。

勉強の内容については、児童生徒に合わせた内容の学習となります。知的障がいがある児童生徒には知的の発達に合わせた学習を、肢体不自由や病弱の児童生徒も同様に身体や病気の状態に合わせた学習を行っています。肢体不自由や病弱の子達の中には通常の勉強が出来る子もいますので、高等部を卒業した後大学へ進学する子もいます。

知的障がいのある子は、算数国語など教科の学習は難しいため発達に合った学習として体験型の学習を多く取り入れています。

- ・自立活動
- ・遊びの指導（コミュニケーション、ルールを守る、感覚の勉強）
- ・日常生活の指導（着脱、トイレ、食事）
- ・生活単元学習（買い物、調理）
- ・作業学習（働く勉強）

次に新しい学校について。新しい校名は(仮称)「かかみがはら支援学校」になります。”かかみがはら”を平仮名にする事で、小中学校の児童に親しみやすく、また全国に発信出来る、そしてあえて”特

別”を抜く事で特別でない支援が自然に出来る学校を目指す、この様な願いが込められています。

開校は令和7年春になります。全館バリアフリーで冷暖房完備、室内温水プール、ジャグジー付きになります。運動場の広さは、市内中学校と同じ広さになります。

最後にロータリークラブの皆様にお力添えを頂きたい事として、生徒の卒業後 就労支援の為に協力いただきたく存じます。

毎年卒業生の1/3は一般企業に就職しております。現在50人規模の高等部の生徒が、来春 開校後は倍の100名程を予定しております。生徒達が卒業した後、社会に出て働く力を身に付ける為にお力添えをいただけますと幸いです。岐阜県教育委員会が指導している事業で「働きたい！応援団 ぎふ」があります。企業の皆さんにご参加いただき、生徒たちの人材育成の為に

- ・職場見学
- ・現場実習
- ・長期（1～2ヶ月）作業学習
- ・技術指導
- ・就労推進

ご協力頂ける範囲内でお力添えをいただきたく存じます。これまで特別支援学級に通う生徒たちを見たことが無いという企業のかたには、見学もお取次ぎさせていただきます。今後共どうぞ宜しくお願い致します。本日は有難う御座いました。



ご講評

東海北陸道グループ ガバナー補佐 渡邊 剛 様



皆様 こんにちは。昨年 10 月 29 日の IM、そして 11 月の地区大会には、会長をはじめ皆様にご出席頂きまして、誠に有難う御座いま

した。お陰様で滞り

なく終える事が出来ました。また本日はかかみがはら支援学校について、大変興味深く傾聴させていただきました。私は 21 年間民生委員を務め、3 年ほど前に退任させていただきました。郡上にも小・中・高等学校の特別支援学校があり、民生委員の時に何度か訪問させていただき、協力や勉強をさせていただきました。郡上の場合は、山間部のため学校の統廃合により空いた校舎がありますので、それらを利用して小中高等学校其々の支援学校に使用しております。今回、各務原は大変素晴らしい建物を建築中という事で感心して聞いておりました。また次年度の地区補助金事業で、新しく出来るこの学校で本の読み聞かせを行い、本を寄贈する事業書も拝見しました。こちらは大変素晴らしい事業だと感心しております。また先日は国際的な活動をするグローバル補助金奨学生の支援のお話しも伺いまして、各務原 RC は会長をはじめ大変素晴らしい活動をしていると感銘を受けております。今後もどうぞ頑張って下さい。

幹事報告

3月ロータリーレート 151円/1\$

◎4月 理事会

4月3日(水) 12時30分～各務原ロータリークラブ
事務所にて開催

◆3月18日(月) 東海北陸道グループ

第3回 会長幹事会 開催(郡上長良川RCホスト)

小林 幹男次期AG、河野 春男 IM 実行委員、松井 雅史
会長、小島 博彦 幹事

ご出席よろしくお願ひします。

◆3月24日(日)

名鉄グランドホテルにて会長エレクトセミナー(PETS)
開催

小林 幹男 次期AG、金武 峰之 エレクト

ご出席よろしくお願ひします。

◆4月13日(土)

三重県総合文化センターにて地区研修・協議会 開催

◆4月19日(金)

2630地区 ガバナー杯ゴルフ大会 開催

◆5月14日(火) 東海北陸道グループ

第83回 クラブ対抗親睦ゴルフ(関中央RCホスト)

場所: シーダーヒルズカントリークラブ

〒501-3202 岐阜県関市西神野 1181-1

時間: 8:49 インアウト同時スタート

参加をご希望の方は3月13日(水)迄に事務局へご
連絡をお願ひします。

2月例会出席率: 55.26%

2月14日(水) 中間決算報告例会 35名中15名
出席 メーキャップ0名 出席率46.88%

2月28日(水) 親睦交流例会 36名中19名
出席 メーキャップ3名 出席率66.67%

3月例会

・3月13日(水) 19:30点鐘

渡邊ガバナー補佐2回目クラブ訪問及び外部卓話

卓話内容: 各務原市役所 教育施設整備推進室

「かかみがはら支援学校」について

会場: 産業文化センター2階 第2会議室

・3月27日(水) 19:30点鐘 外部卓話例会

(多和田 充宏 様(介護相談室ほーき星))

会場: 産業文化センター2階 第2会議室